

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第80期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小熊 信一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸山 光二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸山 光二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第79期 第3四半期連結 累計期間	第80期 第3四半期連結 累計期間	第79期
会計期間	平成23年4月1日 平成23年12月31日	平成24年4月1日 平成24年12月31日	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高(千円)	1,890,401	2,024,901	2,560,586
経常利益(千円)	67,930	110,714	91,500
四半期(当期)純利益(千円)	37,863	122,229	45,655
四半期包括利益又は包括利益(千円)	50,424	111,278	76,820
純資産額(千円)	1,825,497	1,947,265	1,851,893
総資産額(千円)	3,209,275	3,170,046	3,237,319
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	17.88	57.71	21.56
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	55.3	59.7	55.7
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	111,417	154,388	209,358
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	70,277	50,240	92,903
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	72,259	69,831	127,384
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	377,753	432,258	397,942

回次	第79期 第3四半期連結 会計期間	第80期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	平成23年10月1日 平成23年12月31日	平成24年10月1日 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	7.40	37.63

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成25年3月期第3四半期の売上高につきましては、前年度減少していた「管瓶」が例年を上回る売上となった事により、売上高20億2千4百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

利益面につきましても、売上高が増加した事や稼働率及び製造歩留りの向上やさらなる経費削減に取り組んだ結果、前年と比較して営業利益は9千6百万円（前年同期比64.6%増）、経常利益1億1千万円（同63.0%増）、四半期純利益1億2千2百万円（前年同期比222.8%増）とそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して6千7百万円減少し31億7千万円となりました。主な要因は、現金及び預金が7千4百万円並びに受取手形及び売掛金（純額）が7千2百万円増加した一方で、商品及び製品が5千9百万円、未収入金が2千8百万円及び投資その他の資産が7千万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1億6千2百万円減少し12億2千2百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が3千7百万円、社債が5千万円及び繰延税金負債が5千万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して9千5百万円増加し19億4千7百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が1千4百万円減少した一方で、利益剰余金が1億6百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には4億3千2百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億5千4百万円（前年同四半期は1億1千1百万円の資金増加）となりました。これは主に売上債権の増加7千2百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1億3千6百万円、減価償却費5千3百万円及びたな卸資産の減少による収入5千9百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5千万円（前年同四半期は7千万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる1億8千7百万円の収入があった一方で、定期預金の預け入れによる支出1億9千6百万円と有形固定資産の取得による支出4千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6千9百万円（前年同四半期は7千2百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入1億5千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億5千3百万円、社債の償還による支出5千万円及び配当金の支払による支出1千5百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,000	21,130	-
単元未満株式	普通株式 4,900	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	21,130	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が28株含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	24,100	-	24,100	1.13
計	-	24,100	-	24,100	1.13

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における、役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 新任役員

該当事項はありません。

(2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役会長	-	小熊 淳一	平成24年11月25日

(注) 死亡によるものであります。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	275,282	349,934
受取手形及び売掛金(純額)	2, 3 673,038	2, 3 745,324
有価証券	241,372	209,544
商品及び製品	404,639	344,718
仕掛品	4,910	71
原材料及び貯蔵品	39,595	44,964
未収入金	58,847	30,720
繰延税金資産	34,604	21,478
その他	1,218	8,289
流動資産合計	1,733,509	1,755,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	299,326	300,622
機械装置及び運搬具(純額)	153,083	146,748
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	20,626	6,231
その他(純額)	7,470	8,873
有形固定資産合計	926,603	908,572
無形固定資産		
投資その他の資産	2,013	1,807
投資有価証券	484,270	462,744
その他	103,159	54,113
貸倒引当金	12,237	12,237
投資その他の資産合計	575,193	504,620
固定資産合計	1,503,810	1,415,000
資産合計	3,237,319	3,170,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,806	125,694
1年内返済予定の長期借入金	184,125	178,400
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	35,934	24,631
未払事業所税	7,275	5,495
賞与引当金	57,180	20,131
その他	113,647	120,754
流動負債合計	596,969	525,107
固定負債		
社債	100,000	50,000
長期借入金	191,600	193,400
繰延税金負債	86,578	36,267
退職給付引当金	143,107	127,218
役員退職慰労引当金	238,668	262,162
資産除去債務	28,503	28,625
固定負債合計	788,457	697,673
負債合計	1,385,426	1,222,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,470,065	1,576,410
自己株式	8,412	8,435
株主資本合計	1,569,335	1,675,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,348	217,438
その他の包括利益累計額合計	232,348	217,438
少数株主持分	50,210	54,168
純資産合計	1,851,893	1,947,265
負債純資産合計	3,237,319	3,170,046

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,890,401	2,024,901
売上原価	1,517,393	1,593,886
売上総利益	373,008	431,015
販売費及び一般管理費	314,598	334,878
営業利益	58,409	96,136
営業外収益		
受取利息	315	303
受取配当金	14,694	14,784
受取賃貸料	4,315	6,916
その他	4,279	4,165
営業外収益合計	23,604	26,169
営業外費用		
支払利息	6,574	4,967
賃貸費用	6,379	4,396
その他	1,130	2,227
営業外費用合計	14,083	11,590
経常利益	67,930	110,714
特別利益		
受取保険金	-	25,720
特別利益合計	-	25,720
税金等調整前四半期純利益	67,930	136,435
法人税、住民税及び事業税	14,408	39,175
法人税等調整額	11,991	28,928
法人税等合計	26,400	10,247
少数株主損益調整前四半期純利益	41,529	126,188
少数株主利益	3,666	3,958
四半期純利益	37,863	122,229

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,529	126,188
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,895	14,909
その他の包括利益合計	8,895	14,909
四半期包括利益	50,424	111,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,758	107,319
少数株主に係る四半期包括利益	3,666	3,958

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,930	136,435
減価償却費	61,558	53,114
賞与引当金の増減額(は減少)	38,234	37,048
貸倒引当金の増減額(は減少)	123	133
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,938	23,494
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,479	15,889
受取利息及び受取配当金	15,009	15,087
受取保険金	-	25,720
支払利息	6,574	4,967
売上債権の増減額(は増加)	33,757	72,419
たな卸資産の増減額(は増加)	514	59,392
仕入債務の増減額(は減少)	32,457	23,112
未収入金の増減額(は増加)	6,690	28,127
未払消費税等の増減額(は減少)	9,825	4,623
その他	14,328	13,578
小計	98,050	125,341
利息及び配当金の受取額	14,928	15,043
保険金の受取額	-	74,120
利息の支払額	6,966	5,256
法人税等の支払額	4,837	54,860
法人税等の還付額	10,242	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,417	154,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	184,214	196,222
定期預金の払戻による収入	169,700	187,714
有形固定資産の取得による支出	49,594	40,739
投資有価証券の取得による支出	1,555	1,639
その他	4,612	646
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,277	50,240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	170,000	150,000
長期借入金の返済による支出	161,375	153,925
社債の償還による支出	65,000	50,000
配当金の支払額	15,884	15,884
その他の支出	-	22
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,259	69,831
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	31,119	34,316
現金及び現金同等物の期首残高	408,872	397,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	377,753	432,258

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	130,672千円	219,130千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形及び売掛金(純額)	863千円	996千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	5,000千円	40,000千円
裏書譲渡手形	10,855	9,477

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
現金及び預金勘定	261,745千円	349,934千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	119,212	127,219
有価証券勘定	235,219	209,544
現金及び現金同等物	377,753	432,258

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成24年12月31日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成24年12月31日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成24年12月31日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	17円88銭	57円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	37,863	122,229
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	37,863	122,229
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月6日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 奈尾 光 浩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦 光
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。